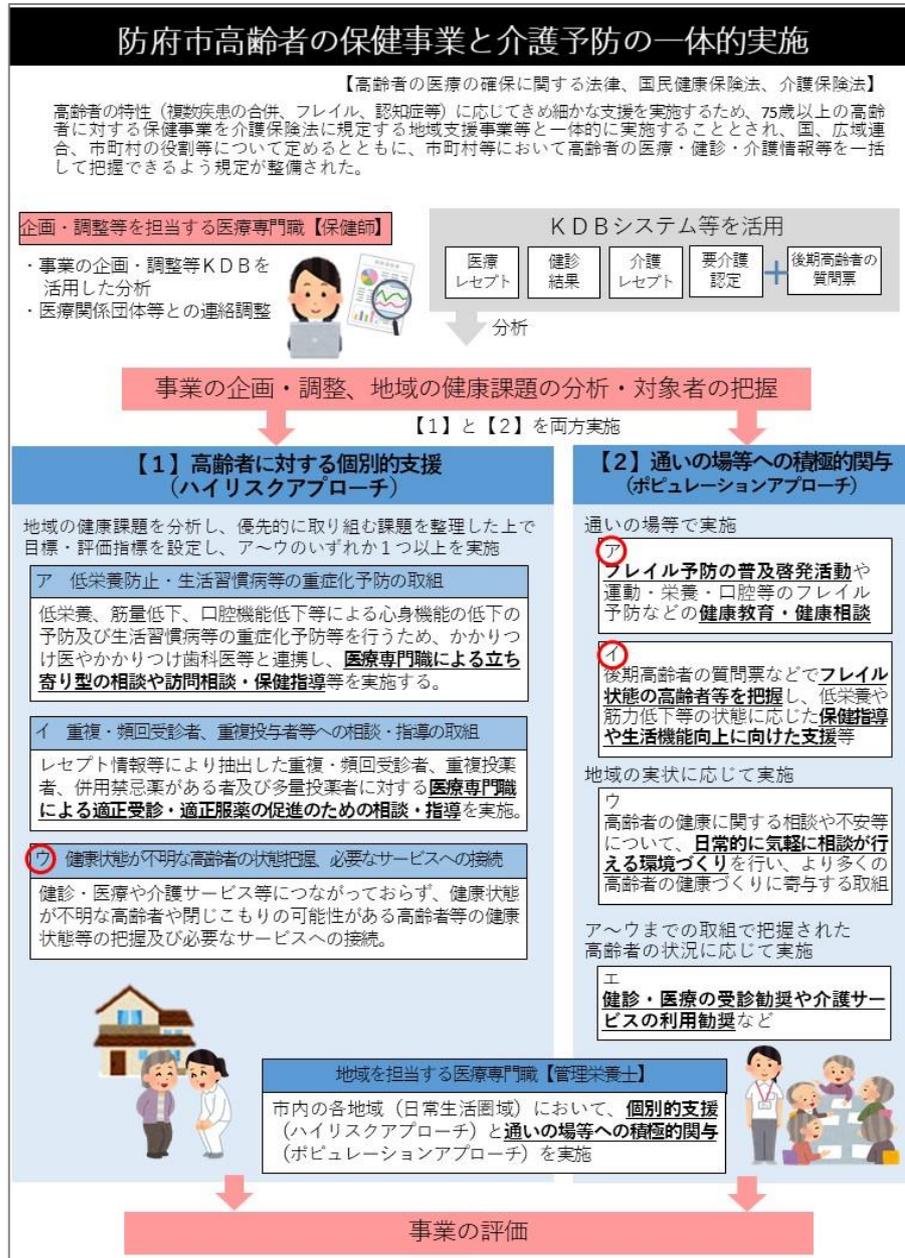


高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について



令和4年度の取組

【1】高齢者に対する個別的支援

→ **健康状態が不明な高齢者の状態把握、必要なサービスへの接続**

健診・医療・介護サービス等につながっておらず、健康状態が不明な高齢者や、閉じこもりの可能性のある高齢者等の健康状態等の把握及び必要なサービスへの接続を行う。

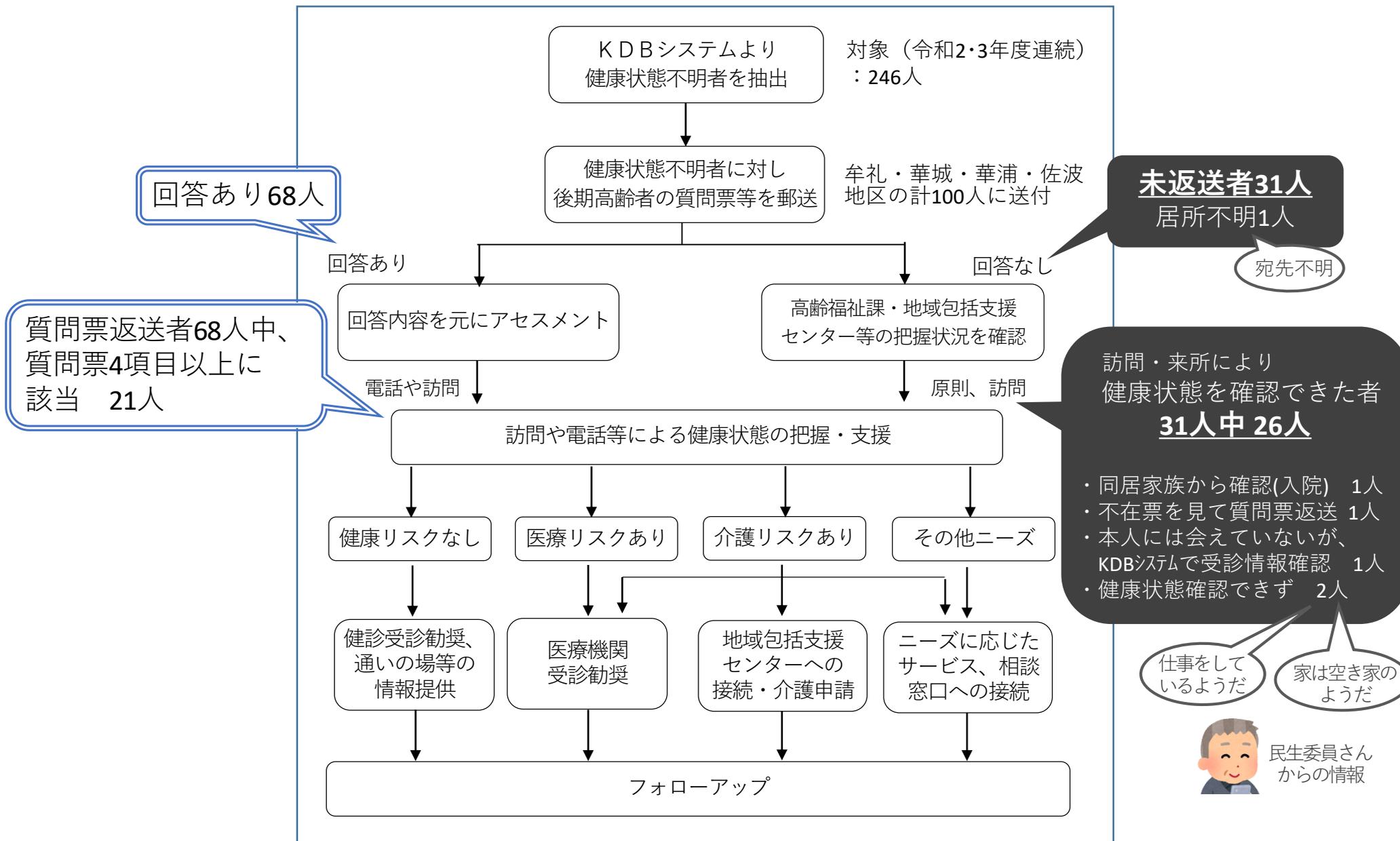
【2】通いの場等への積極的関与

→ ○ **フレイル予防の普及啓発活動**や運動・栄養・口腔等のフレイル予防などの**健康教育・健康相談**

→ ○ 後期高齢者の質問票などで**フレイル状態の高齢者等を把握**し、低栄養や筋力低下等の状態に応じた**保健指導や生活機能向上に向けた支援等**

【1】高齢者に対する個別的支援（健康状態不明者対策）

令和4年度結果
(令和5年2月1日現在)



回答あり 68人

質問票返送者68人中、
質問票4項目以上に
該当 21人

未返送者31人
居所不明1人
宛先不明

訪問・来所により
健康状態を確認できた者
31人中 26人

- 同居家族から確認(入院) 1人
- 不在票を見て質問票返送 1人
- 本人には会っていないが、KDBシステムで受診情報確認 1人
- 健康状態確認できず 2人

仕事をしているようだ
家は空き家ようだ

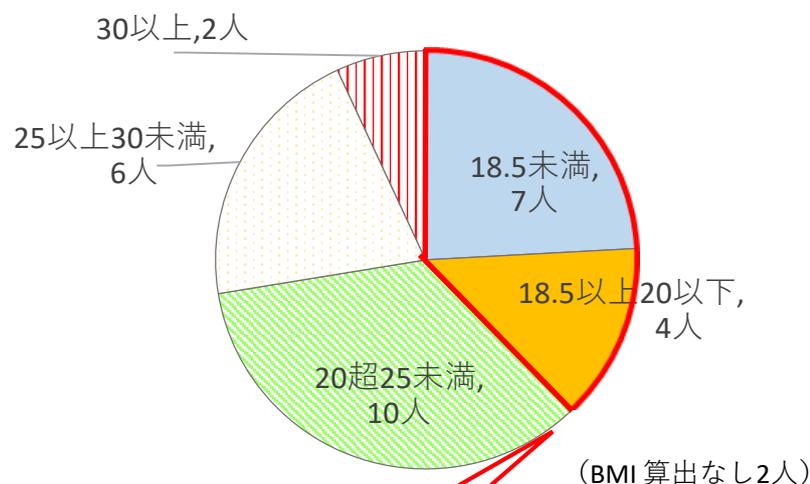


【1】高齢者に対する個別的支援（健康状態不明者対策）

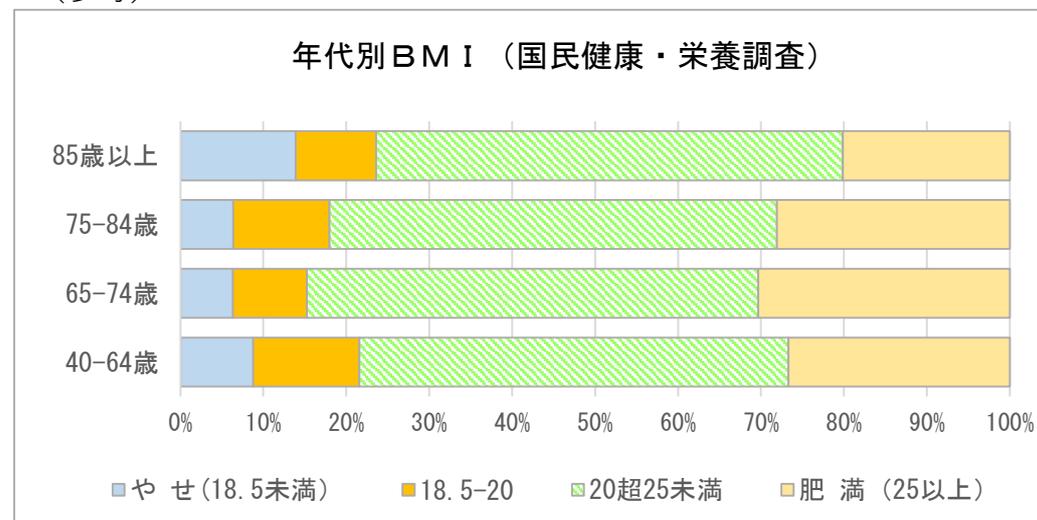
質問票	対象人数	訪問で健康状態を把握した人数	体重測定実施 (BMI18.5未満/21.5未満)
未返送者	31人	26人	21人 (4人 / 12人)
返送者		14人	10人 (3人 / 5人)



健康状態不明者BMI



(参考)



(令和元年国民・健康栄養調査結果)

体重測定実施31人中
11人 (35.5%) が
BMI 20以下

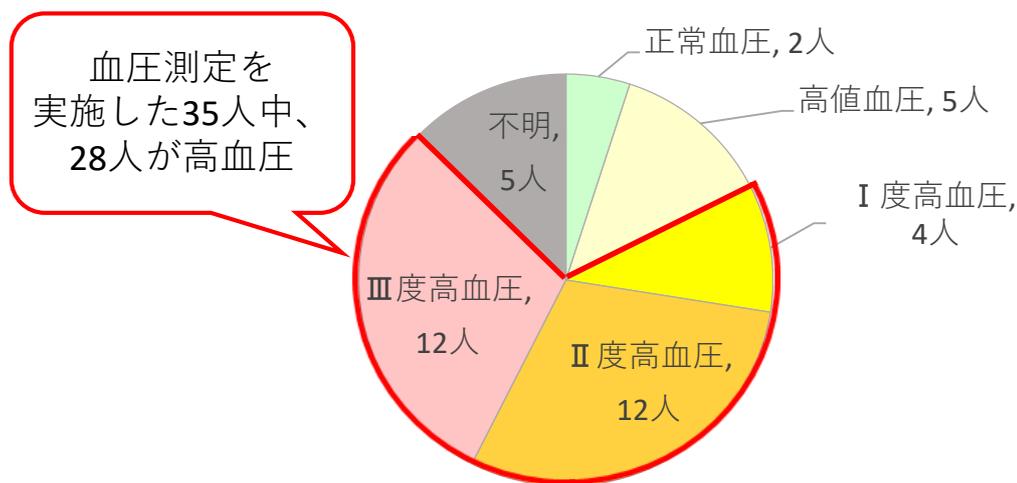
健康状態不明者のBMI 20以下の者の割合 (35.5%) は、令和元年国民健康・栄養調査 (75歳以上) のBMI 20以下の割合 (約20%) と比較して高くなっている。65歳以上の高齢者については目標とするBMIは21.5~24.9であり、適正体重を維持することの重要性を周知していく必要がある。

【1】高齢者に対する個別的支援（健康状態不明者対策）

質問票	対象人数	訪問で健康状態を把握した人数	血圧測定実施（高血圧者）
未返送者	31人	26人	23人 (17人)
返送者		14人	12人 (11人)

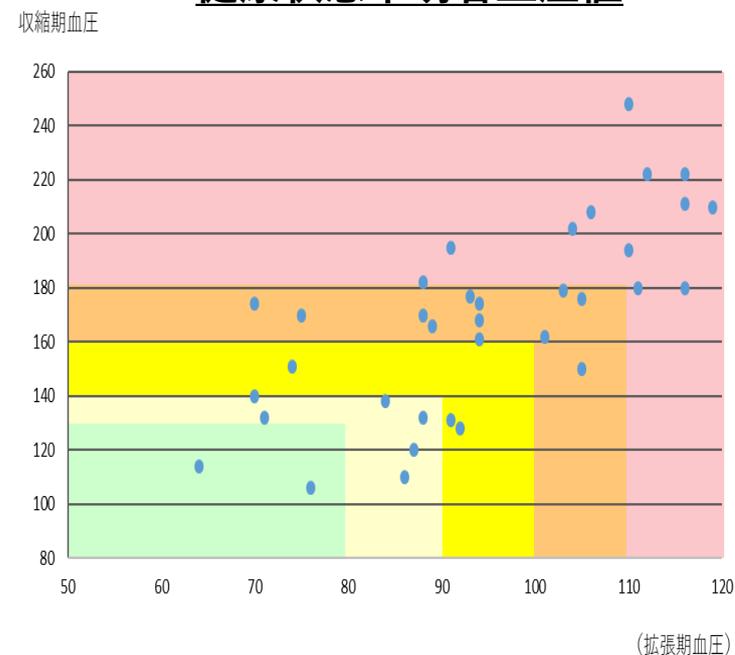


健康状態不明者血圧値分類（初回訪問時）



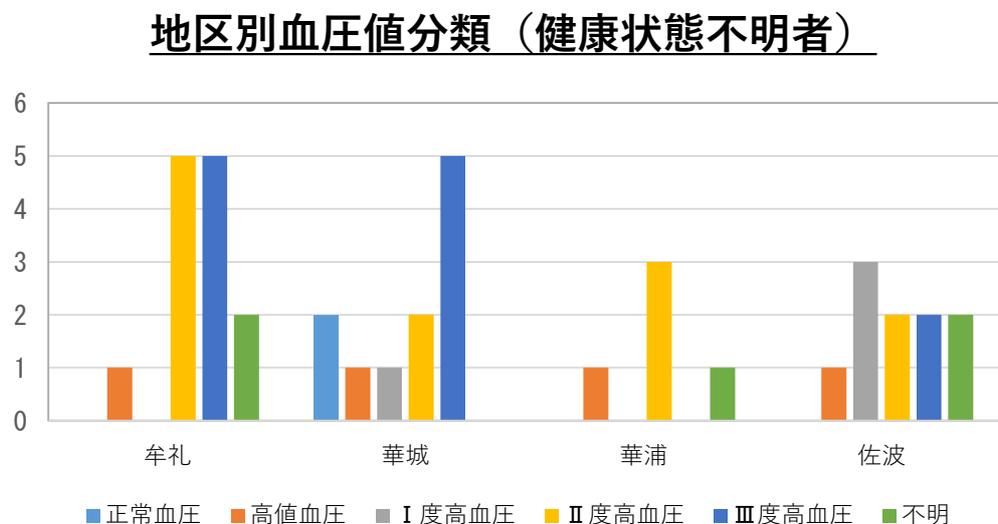
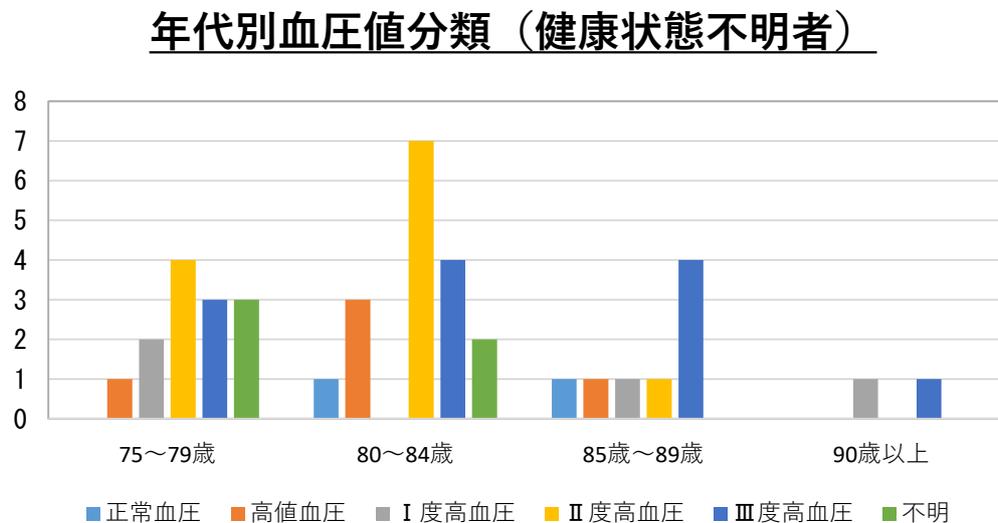
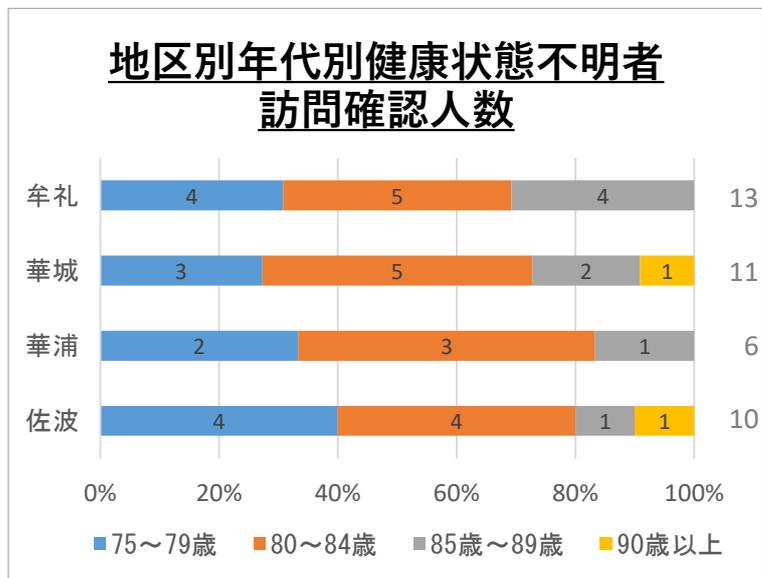
I度高血圧：140-159mmHgかつ/または90-99 mmHg
 II度高血圧：160-179 mmHgかつ/または100-109 mmHg
 III度高血圧：180mmHg以上かつ/または110 mmHg以上
 （診察室血圧値による分類）

健康状態不明者血圧値

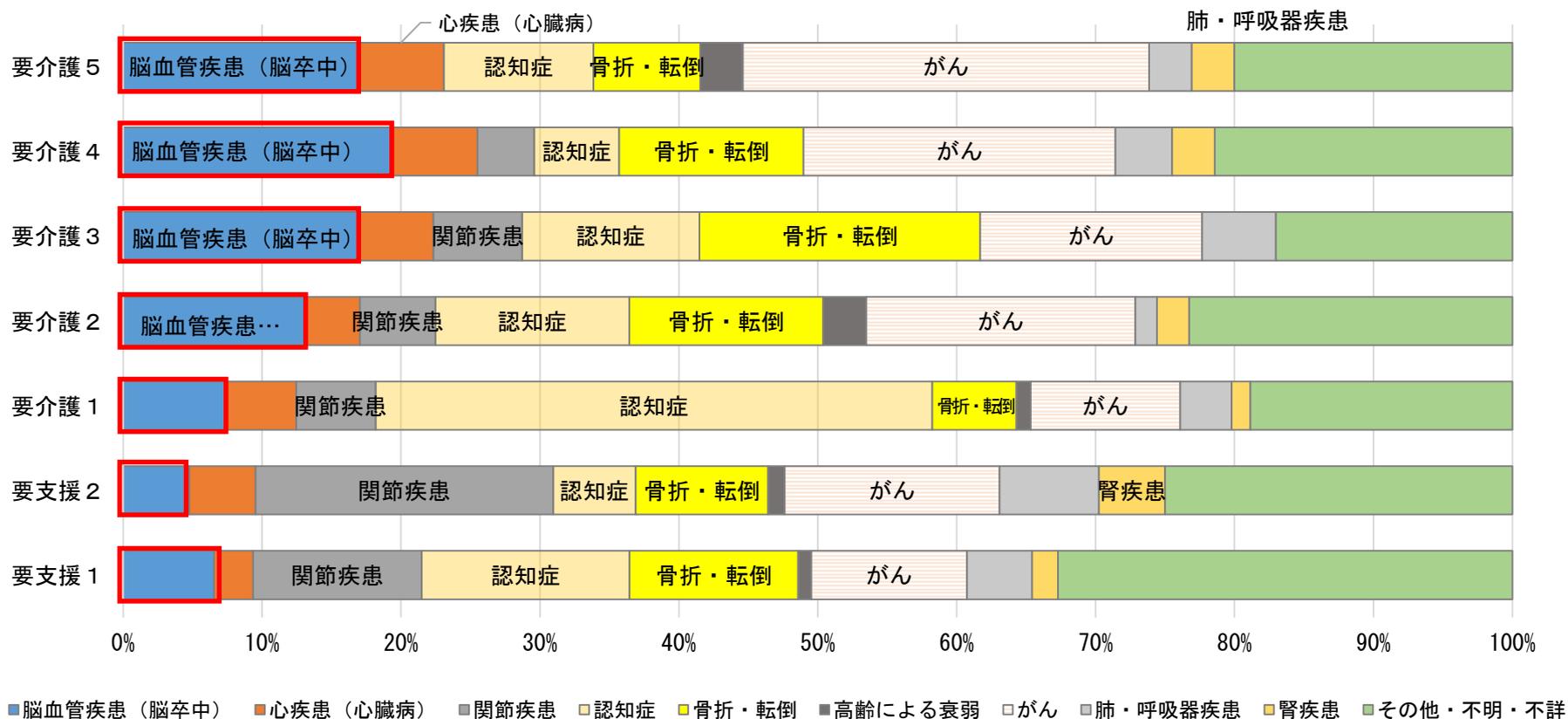


健康状態不明者は血圧測定を実施した者のうち、約8割が高血圧であり、中でもII度・III度高血圧の者が特に多い。

【1】高齢者に対する個別的支援（健康状態不明者対策）



介護度別介護が必要になった原因（令和3年度防府市介護保険新規申請者）

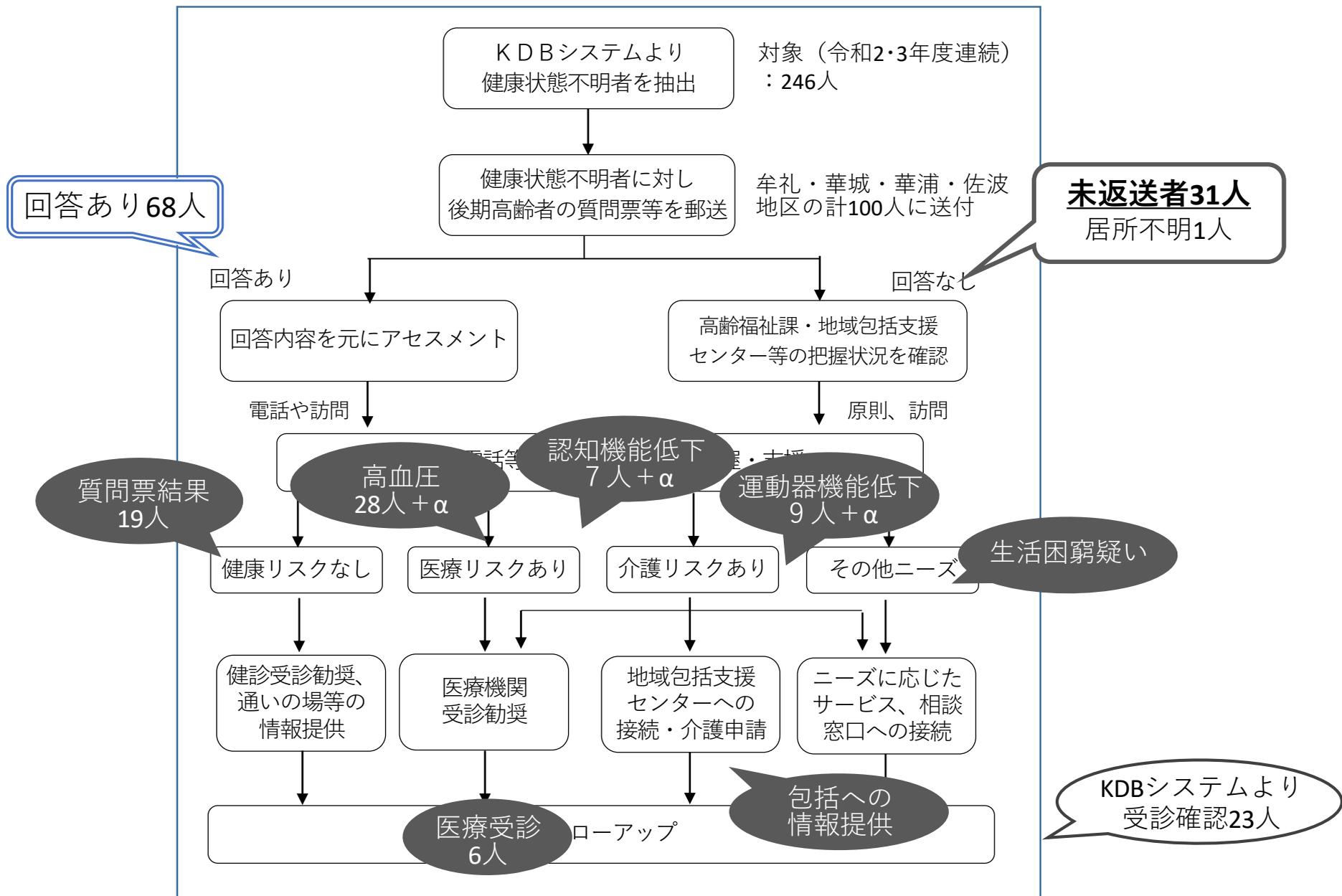


（令和3年度防府市介護保険新規申請者 主治医意見書傷病名より作成）

介護が必要になった主な要因のうち、脳血管疾患が約11%を占めており、認知症、がんに次いで3番目に多い。また、介護度の高い人で「脳血管疾患（脳卒中）」の割合が高くなっている。介護予防（要介護状態になることの予防及び重症化予防）のためにも、血圧の管理が重要である。

【1】高齢者に対する個別的支援（健康状態不明者対策）

令和4年度結果
(令和5年2月1日現在)



【1】高齢者に対する個別的支援（健康状態不明者対策）

健康状態不明者対策の目的

医療や介護サービス等につながっておらず、健康状態が不明な75歳以上の高齢者の健康状態を把握し、必要な医療・介護サービス等につなげることで、生活習慣病の重症化や要介護状態となること及び要介護状態の悪化を予防する。



質問票の送付がきっかけとなり、健診を受けた。

認知症・糖尿病受診中断を心配していた家族の相談のきっかけとなり、受診・介護サービス利用につながった。

生活の困りごとについての相談を受け、包括と訪問。健康状態の悪化が判明し、受診支援を行った。

本人からの困りごとの訴えはないが、高血圧や郵便物の管理ができないなどの認知機能低下があり、受診・介護保険申請につながった。

健康状態不明者対策から見えてきた課題

血圧が高い人が多い

受診勧奨への反応

「症状は何もないから」
「どこも悪くない」
「年だからもういい」
「待ち時間が長いから嫌」
サプリメントで対応

健診受診勧奨への反応

「健康に自信がある」
「健診を受ける必要性を感じない」

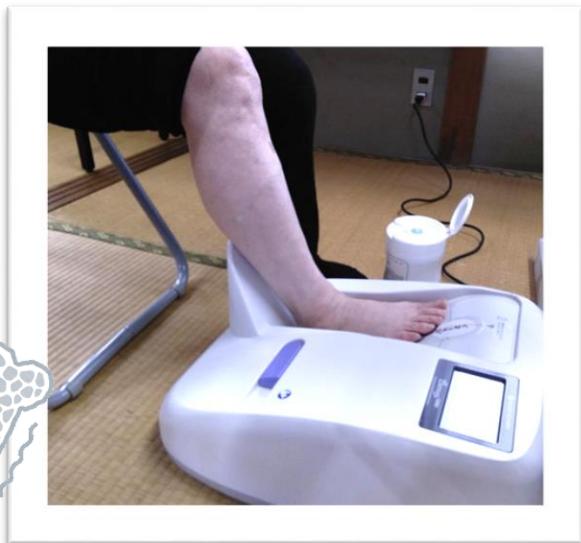


周知が必要!!

- ・ 「高血圧」のリスクや生活の中で実践可能な具体的な方法等
- ・ 血圧測定や体重測定など、自分の健康状態に関心を持つことの大切さ
- ・ 健診受診の必要性について

【2】 通いの場等への積極的関与

骨量測定



身長・体重測定



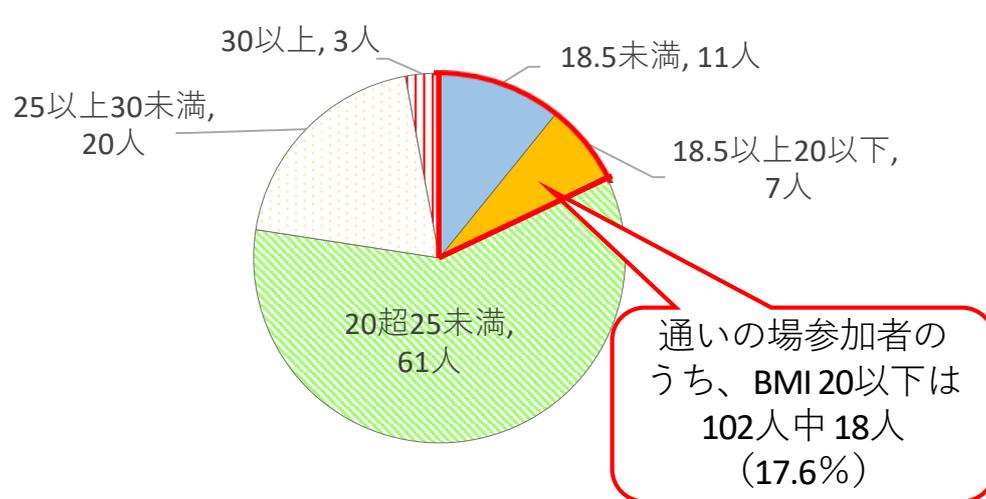
健康教育（フレイル・オーラルフレイル）

口腔機能測定

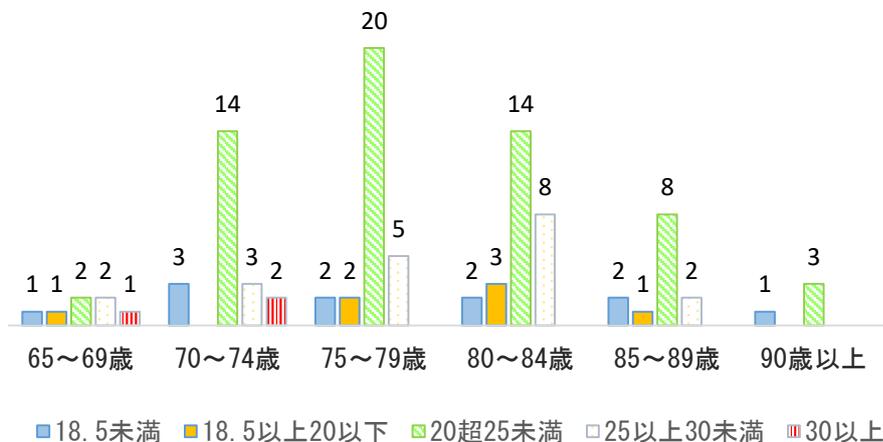


【2】 通いの場等への積極的関与

通いの場参加者BMI（男女）



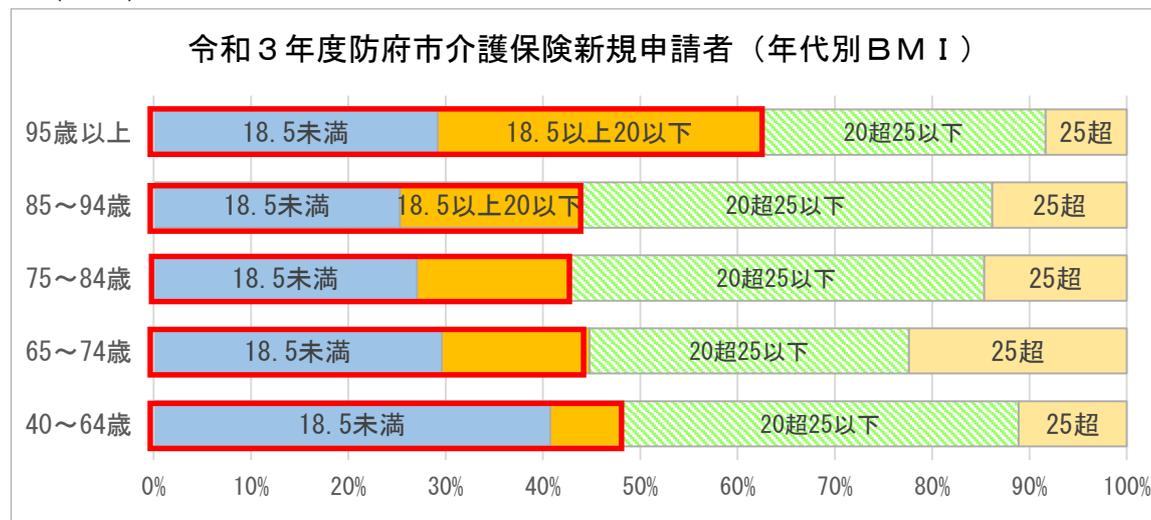
通いの場参加者BMI（年代別）



介護保険新規申請者（令和3年度）のうち、BMI 20以下は44.2%

通いの場では、「やせ」「体重減少」がフレイルの要因となることを説明。防府市の介護保険新規申請者は4割がBMI 20以下であり、介護予防の取組として体重の維持が重要であることを伝えた。

（参考）



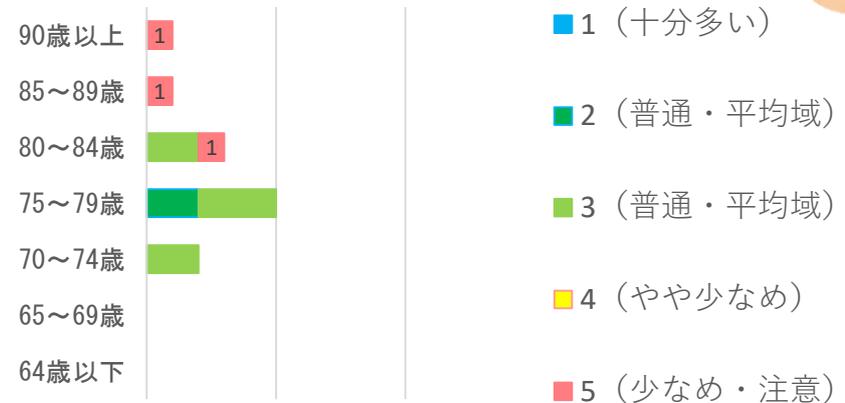
（令和3年度防府市介護保険新規申請者意見書診断名より作成）

【2】 通いの場等への積極的関与

骨量測定結果（通いの場・女性）



骨量測定結果（通いの場・男性）

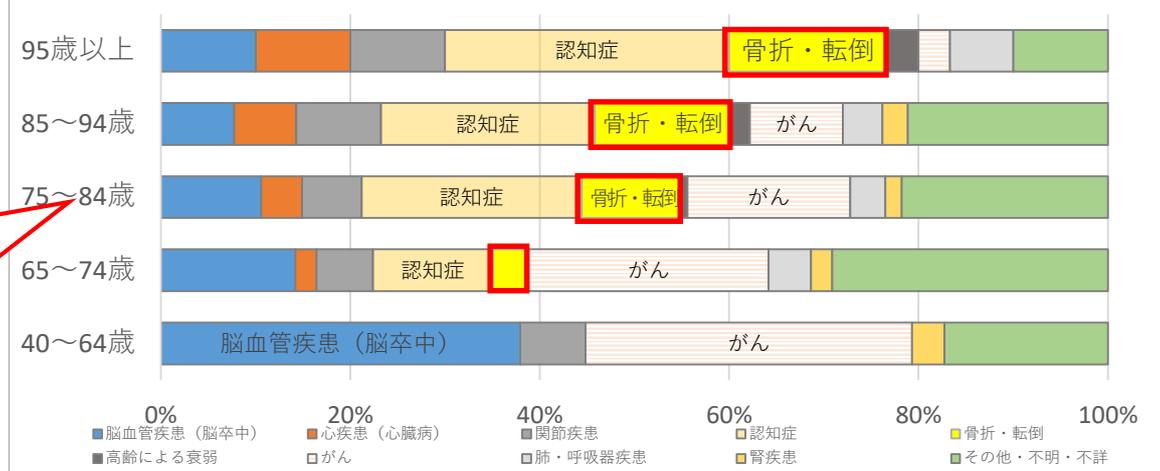


75歳以上の参加者が多く、
女性は骨量が
「注意」の人が多い。

介護保険新規申請者（令和3年度）は
年代が高くなるほど骨折・転倒が増える
ことを説明。
介護予防として、転倒・骨折予防の
重要性を伝えた。

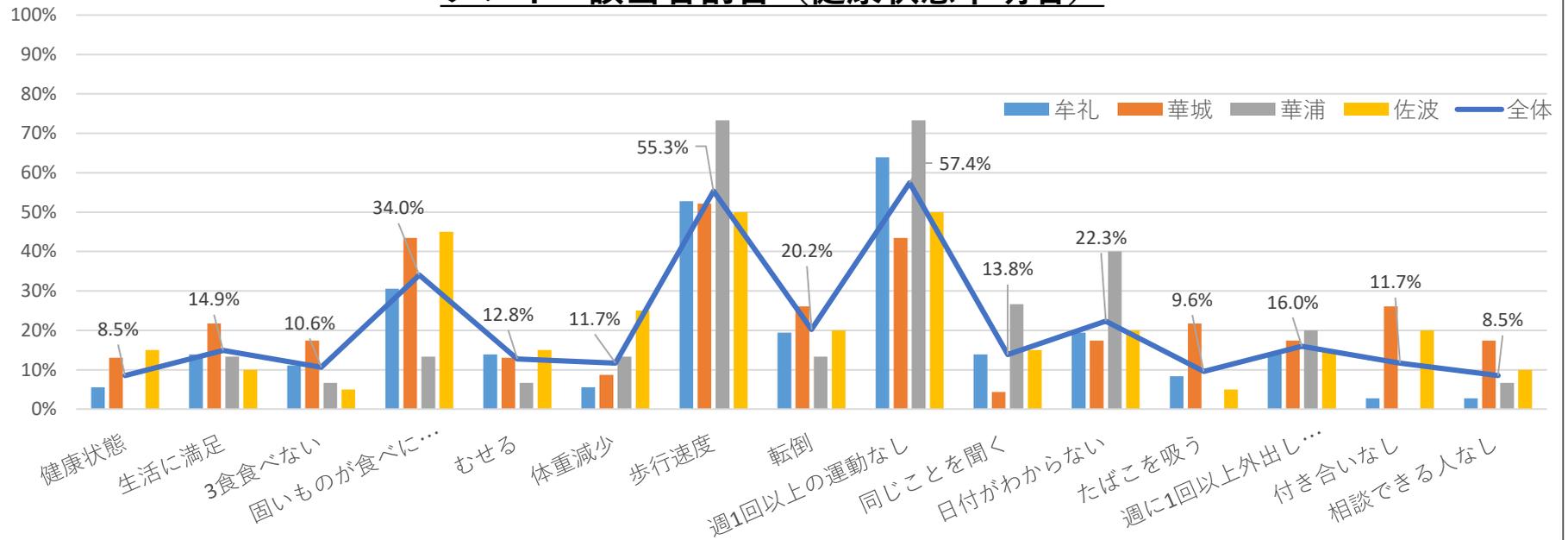
（参考）

年代別介護が必要になった理由（令和3年度防府市介護保険新規申請者）



（令和3年度防府市介護保険新規申請者意見書診断名より作成）

フレイル該当者割合（健康状態不明者）



フレイル該当者割合（通いの場）

